

OISTER 第2期における初心者 向けIRAF講習会の総括

山中雅之(京都大学)

コンテンツ

- ・今年度2度（6月と10月）実施した初心者向け講習会の報告
- ・これまで開催した8回分の参加者アンケート結果と分析
- ・振り返ってみて

背景と動機

- ・パソコンの一般的操作さえ不慣れな初学者にとっては、Linux/unixコマンドは初めて触れる外国語のようなものであり、修士1年がIRAFを学ぶハードルは高い。

経験者が対話的に指導する場が求められる。

- ・個別対応的な教育では指導者が多くの時間を割かなければならない。このような状況を解決すべく、系統立った一斉解析講習会の提案を行った。

実施要項

-受講対象者：

今後あるいは現在、光赤外線関係での研究をご検討・進行中の人で、

- ・ UNIX/Linuxに不慣れな方、まだ触ったことが無い
- ・ IRAFでの操作・解析経験が全くかほとんど無い
- ・ PC操作に苦手意識を持つ

-言語

日本語

-受講資格：

学部生・大学院生を対象

実施要項 つづき

- ・ TV会議システム(zoom) 参加
- ・ 資料内容：山中が独自に作成。バイアス・フラット処理を含めて100ページ程度のスライド (zeroreduction.pdf)
- ・ 使用データ：広大かなた望遠鏡およびHOWPOIで取得されたBVRIバンド (OISTER ToO観測実施データを使用) 撮像データ (超新星SN 2018zd) を使用。
- ・ 事前準備：PCへのIRAF/xgterm/ds9のインストール (各機関の実務担当者がサポート)

5月に実施した講習会

「第7回 初心者向けIRAF講習会」

日時・各回のテーマ・参加者人数

総参加者数:16人(全てZoomにて参加)

5月10日(月) 12:00-14:00

1. はじめに 出席者数:12名

5月14日(金) 16:00-18:00

2. バイアス合成と処理 出席者数:15名

5月17日(月) 12:00-14:00

3. フラット合成と処理 出席者数:14名

5月21日(金) 16:00-18:00

4. 開口測光 出席者数:15名

10月に実施した講習会

「第8回 初心者向けIRAF講習会」

日時・各回のテーマ・参加者人数

総参加者数:5人(全てZoomにて参加)

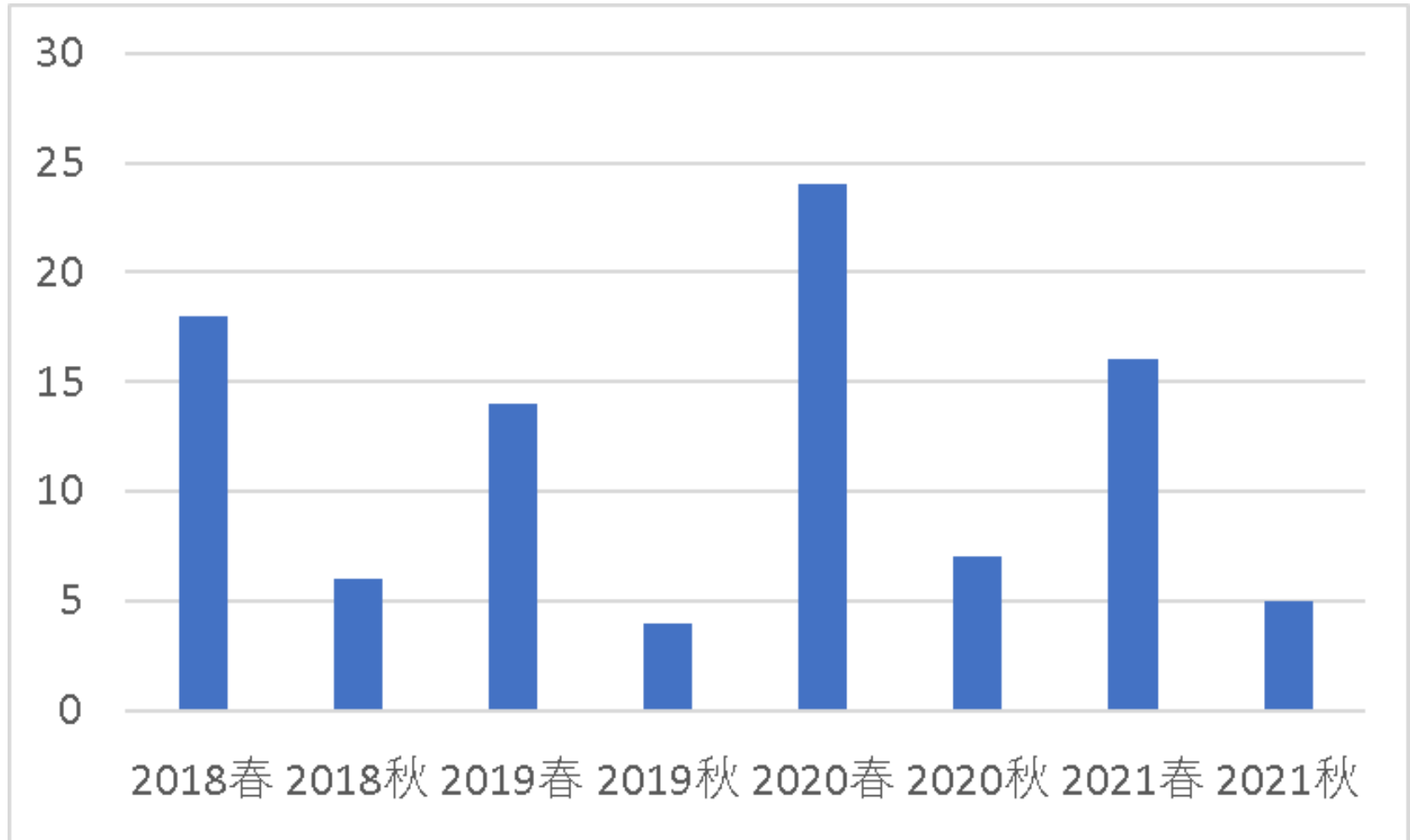
10月14日(木) 15:00-17:00 1. はじめに 出席者数
:5名

10月18日(月) 10:00-12:00 2. バイアス合成と処理
出席者数:3名

10月18日(月) 13:00-15:00 3. フラット合成と処理
出席者数:3名

10月19日(火) 13:00-15:00 4. 開口測光 出席者
数:4名

これまでの参加人数



2020春がコロナ禍開始直後ということもあり、特に参加者が多かった。
質問も多くエクストラの5回目を実施した

講習会後にアンケート実施

有効回答率

第一回 13/18

第二回 3/6

第三回 14/14

第四回 3/4

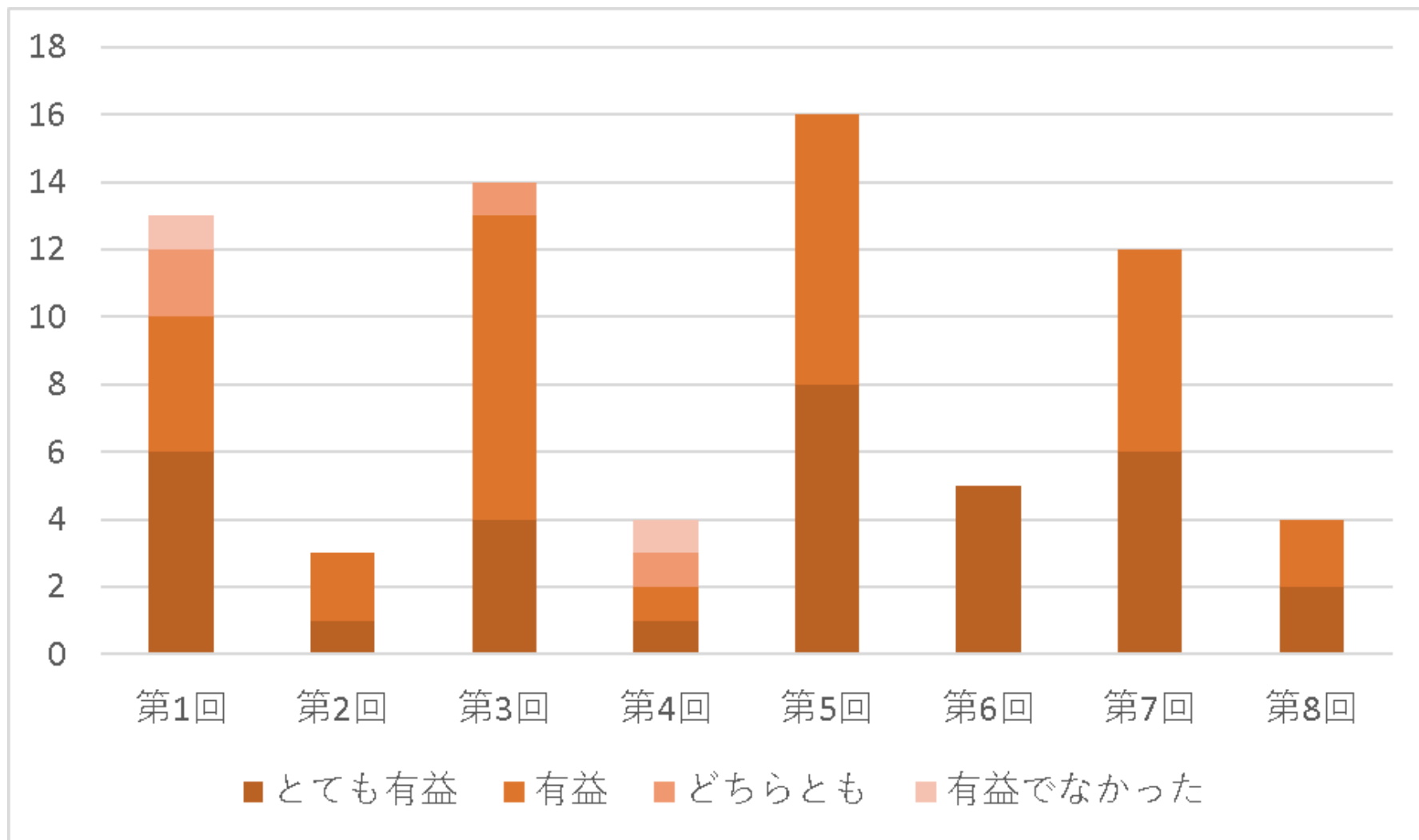
第五回 16/24

第六回 5/7

第七回 12/16

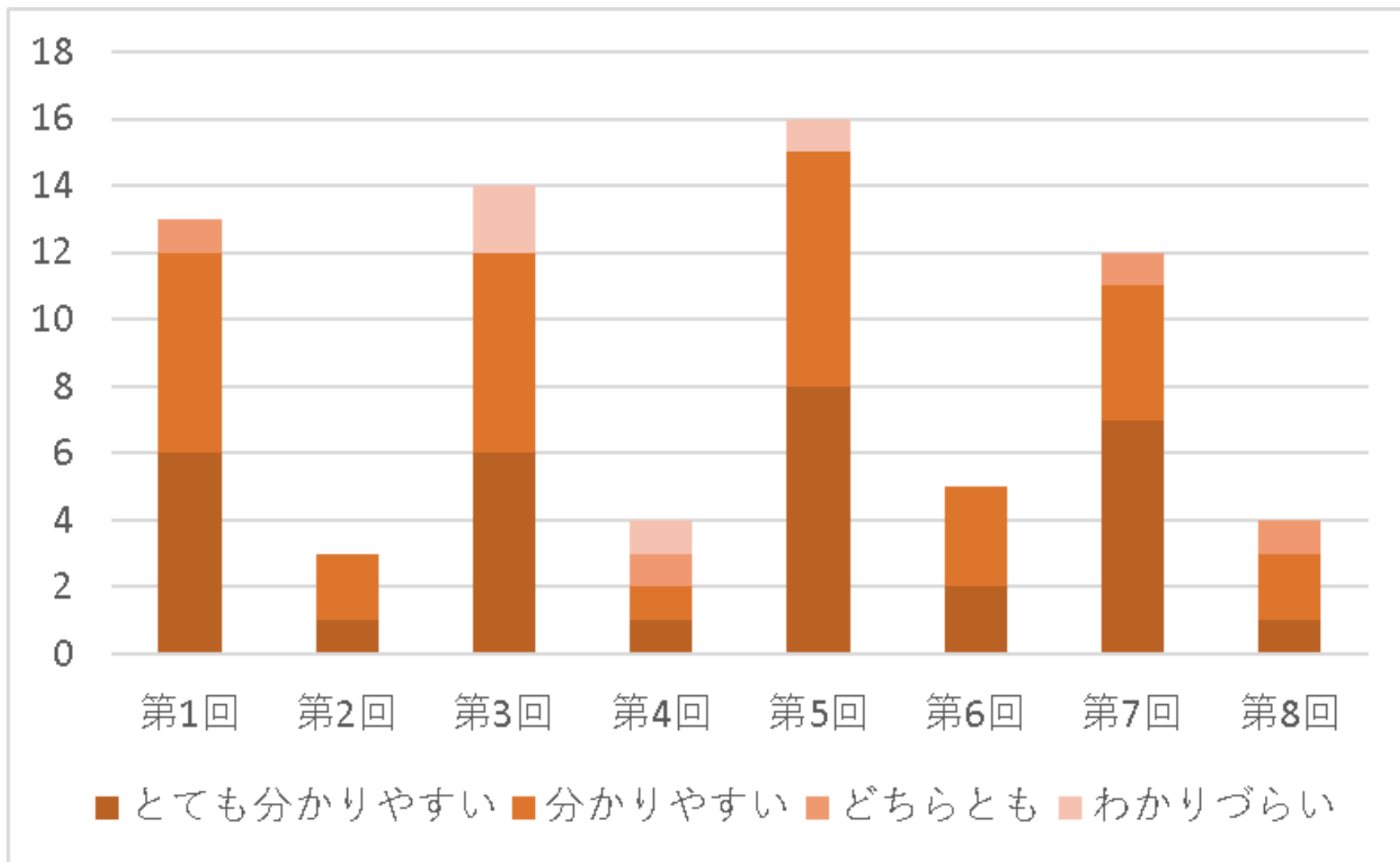
第八回 4/5

講習会の内容は有益なものとなりましたか？



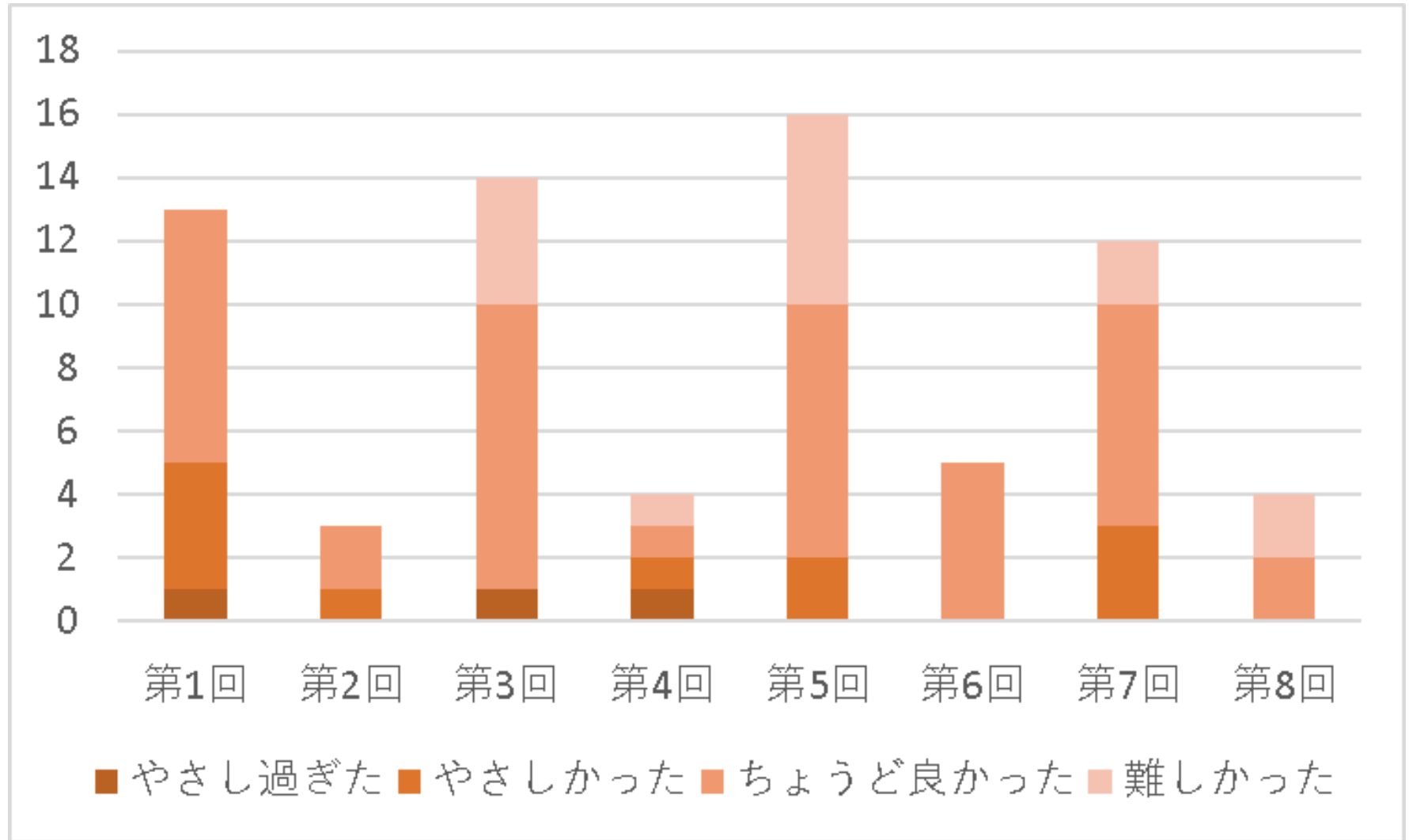
最近4回は とても有益・有益が100%!

講習会マニュアルはわかりやすかったですか？



とても分かりやすいが半数、わかりやすいが半数：
まだ改善の余地はある？

講習会のレベルはいかがでしたか？



常に「ちょうど良かった」が半数以上

4年間を振り返ってみて(私見)

- Zoom を有効活用したオンライン講習会:開催後アンケート結果も好評(?)で実りあるものとなった。
- チュートリアル作成は労力が必要だったが、一度作ってしまえば繰り返し使えた(ただしもう二度と作りたくない)
- 2020年はコロナ禍の影響もあり参加人数も多く、参加者のモチベーションも高かった印象 -> 今年になって傾向が戻ってある意味(?)安心した。
- IRAF講習会と言いつつ、Linux 基本的コマンド (ls/pwd/sed/paste/awk)の使い方を仕込んだ事が実は良かった: 汎用性のあるLinuxコマンド講習会 (gnuplotなど?)
- 参加者が躓く要素としては、実は初期IRAFインストール直後の設定に関するものが多かった (login.clの編集やpyrafのパスなど)。
- 一方で、脱IRAFに向けた何等かの(やはりPythonか)要素を含んだ講習会の検討も必要であろう。東工大グループ作成のPython教材に期待。
- また、次のステップである発展的要素(分光データや画像差し引きなど)の講習会についても一定の要素はありそう -> ただし、以前実施したアンケートではいずれの項目も同程度の人気。個別的な開催が良いか?

Summary

- 4年間にわたって計8回、初学者向けIRAF講習会を実施した。
- これまでのアンケートの結果、参加者にとって講習会は非常に満足の得られるものであったと思われる。
- 参加者は春が多く、秋が少ない(当然)
- IRAFは公式のサポートを終了させたが、依然としてIRAFによるデータ解析が必要となる場面があり、ニーズの減少傾向が認められなかった。次期OISTERでも継続する必要性はありそう。
- 一方で、なんらかの形でPythonなどの講習会開催も検討すべきであろう。
- また、発展的内容の講習会についても個別開催的になるかもしれないが、実施すると良いであろう。